

# おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

2017年12月第424号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>



## サンタクロース Santa Claus

戸川敬一

サンタクロースといえばクリスマス・イブにジングルベルの鈴の音とともにトナカイの引くそりに乗って煙突からそとなかに入って贈り物を靴下の中へ入れていく白ひげ、赤服、赤頭巾、長靴を履いた好々爺を想像するが、この人物はもともとニコラオスに由来する。彼は4世紀頃小アジアの一地方リュキア (Lycia) のミュラの司教であった。子供の守護の聖人といわれるほど子ども好きで、思いやりのある人で、伝説によると、事業に失敗した人の3人の娘が奴隷に売られそうになったとき、夜中に窓から金貨入りの財布を投げ入れて娘たちを救ったという、たまたまその財布の一つが暖炉のそばで乾かしてあった靴下の中に入ったところからニコラオスの来る前に靴下を吊るしておく慣習が生じたという。この聖人の祝日はクリスマス・イ

ブではなく、もともと12月6日である。したがってヨーロッパ、特にオランダやドイツ、スイス、オーストリアなどのドイツ語圏では子どもが楽しみにする贈り物の日である。すでに16世紀頃から戸口の前に子どものために靴を置いておく風習もあった。やがてニコラオス(に扮した人物)自身が子どものいる家庭を訪れる慣習に変わった。日が暮れると子どもを中心に家族一同が待つところへ司教冠(ミトラ)をかぶり牧杖を手にしたニコラオスが下僕を従えて現れる。この下僕はループレヒト(Ruprecht)という名で、毛皮をまとい鞭を鳴らしながら悪い子を探す。これはキリスト教以前の悪魔の子孫とも考えられ、子どもにとっては恐怖の的である。司教ニコラオスは子どもたちに一応の訓示を垂れ、この1年間行状の良い子にはご褒美を、悪い子には罰を与えるのであるが、大抵は悪い子も回心を誓いやはり何かを貰えることになっている。アメリカへはオランダ系のプロテスタントが移住したときに「ニコラオスの訪れ」を伝え、アメリカ人のクリスマス・プレゼントの既存の風習と結びついた。サンタ・クロースはオランダ語では Sint Klaes または Sinter Klaas、英語になまって Santa Claus、イギリスでは Father Christmas と呼ばれ、ドイツ語の Weihnachtsmann、フランス語の Père Noël、Bonhomme Noël がこれにあたる。

## 『クリスマスの思い出』

佐藤 道世

12月はクリスチャンもそうでない人も、一年で一番わくわくする季節。私の家はクリスチャンホームではなかったのですが、クリスマスツリーを飾り、サンタさんが来るクリスマスを心待ちにしていました。新聞に入って来るおもちや屋さんのチラシを見て、サンタさんにお願いする品を選んだり、手紙を書いたりしていました。

私が初めて教会に行ったのは、1987年のクリスマスイブでした。「本当のクリスマスに行ってみない？」との友人の言葉に誘われて、カテドラルの札幌北一条教会に行ったのです。そこで初めてChristmas（キリストのミサ）がイエス様の誕生日をお祝いする日だと知りました。その日は前日から降った大雪がザクザクに融けて歩きづらい日だったため、御ミサに10分ほど遅刻して行ったのを覚えています。御ミサは五感に訴えるものがあり、荘厳のうちに終わりました。感動するとともに遅れて行ったのを後悔しました。教会は誰でもいつでも行って良いと知り、次の日曜日の朝9時の御ミサに遅刻しないように与ることにしました。

次の日曜はイエス様がお生まれになり、マリア様とヨセフ様と共に『聖家族』をお祝いする日でした。そこで「私の救いはここにある」と感じました。複雑な家庭環境で育ったので、「家族」という温もりに憧れていたのです。それから1年教会での勉強を続けさせていただきました。私は早く結婚して自分の家庭を大切にしたい思いでいました。当時カトリック要理を教えて下さっていた、故・荒木関孝神父様は、一年勉強を続けても「悟らない」私に、「この物分りの悪いものを、後任の神父様に託すのは悪いから」と仰って1989年の御復活祭に受洗の恵みを授けて下さいました。

時が経ち、私は自分の伴侶を求める為に、寝る前に旧約の『雅歌』を写し書きしてお祈りしていました。そうした中、一人の男性との出逢いがありました。それは神様が与えて下さった方と思いました。彼とお付き合いが進んでいく中で、「教会に」2人で行くことの難しさを感じました。婚約し、式は教会で挙げることとなった時、「自分も洗礼を受けなくていいの？」と彼は聞いたのです。受洗のチャンスだと思いましたが、イエス様を信じていないのに結婚の為に受洗するものなんだかなあと思い、その時は結婚講座を受けるのみとなりました。ただクリスマスだけはプレゼントも何も要らないので教会と一緒に行って欲しいことを了承してくれたのです。



彼、今の夫ですが、2008年の御復活祭に洗礼のお恵みに与りました。クリスマスだけでなく、たまに夫婦で御ミサに与れることは、神様からの大いなるお恵みと思い、感謝しています。

## 教会委員会記録

11月5日 14名参加

1. 11～12月の典礼について（こよみ参照）
2. 山梨地区宣教司牧委員会について
  - ・10月15日の共同宣教司牧の勉強会は、とても有意義な勉強会になり、これからも続けていきたい。
3. こびっとプロジェクトより
  - ・震災7年の記念として、来年3月3日（土）記念講演会と、5月に東北被災地支援ツアーを計画している。
  - ・次回2月18日（日）甲府教会13：30
4. 感謝と喜びの集いについて
  - ・11月25日（土）は、13：30～準備をします。
  - ・11月26日（日）は、10時45分開催
5. 主の降誕について
  - 24日（日）のミサ後にパーティーの準備をする。
6. その他
  - ・セキスイハイム5年点検について  
外床タイル補修（日程調整中）  
散水栓漏れ（見積もり待ち）
  - ・フードバンク  
12月3日～24日まで集める。
  - ・「富士五湖ダルクを支援する会」へ加入していただきたい要請
  - ・財務より会計処理の関係で10月の教会委員会を第2日曜日に変更していただきたい旨の要望があり、了承される。
  - ・12月10日（待降節第2主日）よりクリスマス献金。  
寄付先は例年通り富士吉田教会近隣で活躍する団体とし、12月の教会委員会で決定いただく。

# こよみ



## 12月

- 1日(金) 初金曜日 ロザリオ 10:00 ミサ 10:30
- 3日(日) 待降節第1主日 ミサ 9:30 宣教地召命促進の日(献金) 教会委員会  
(聖堂清掃は河口湖・都留地区)
- 8日(金) 無原罪の聖マリア(祭日) ミサ 10:30
- 9日(土) 聖歌練習 9:30
- 10日(日) 待降節第2主日 子供と共に捧げるミサ 9:30 大掃除
- 13日(水) 手芸会 9:30
- 16日(土) 小さき花幼稚園 クリスマス会(富士山ホール)
- 17日(日) 待降節第3主日 国際ミサ 9:30  
(聖堂掃除はインターナショナル・山中・忍野地区)
- 22日(金) 富士聖ヨハネ学園 クリスマスミサ 14:00 キャンドルサービス 18:30
- 24日(日) 待降節第4主日 ミサ 9:30 パーティーの準備(聖堂掃除は吉田地区)  
主の降誕夜半ミサ 18:30 パーティー(リズムホール)
- 25日(月) 主の降誕ミサ 10:00 茶話会
- 26日(火) 聖ステファノ殉教者(祝日)
- 27日(水) 聖ヨハネ使徒福音記者(祝日)
- 28日(木) 幼子殉教者(祝日)
- 31日(日) 聖家族 ミサ 9:30 (聖堂清掃は有志)
- \*\*\*\*\*
- 金曜 10:00 ロザリオ 10:30 ミサ(1, 8, 15, 22, 29日)
- イタリア語教室 月曜 10:00 (4, 11, 18日)
- 日曜学校 主日のミサ後~11:40 ※24日(日)から冬休み
- \*\*\*\*\*

## 2018年1月

- 1日(月) 神の母聖マリア ミサ 10:30 世界平和の日 新成人の祝福
- 5日(金) 初金曜日 ロザリオ 10:00 ミサ 10:30
- 7日(日) 主の公現 ミサ 9:30 教会委員会

## 12月のミサ奉仕

月日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	歌伴奏
3	江守香代子	山本一孝	真彩	小山田匡宏	宮本禮子	シスター
10	曾根美香	栗原今朝夫	真彩	相沢千代子		シスター
17	江守香代子	—	正人	英語	?	シスター
24	東海林美佐子	東海林義夫	天翔	志村好直	渡辺幹雄	シスター
31	東海林美佐子	東海林義夫		山本一孝	江守香代子	シスター